

電信課長

大臣

次官

東亞 歐亞 米洲 通商 條約 情報 文化 調查 人事 文書 會計 秘書官

寫送先

昭和11 一八〇七四 暗

上海 十九日後發  
本省 九月十九日夜着

9.21

亞

有田外務大臣

川越大使

第七九四號

九江發本使宛電報

第二二號

大臣へ轉電アリタシ

第二二號

昨九、一八紀念日當日ハ縣黨部ニ於テ紀念式舉行セラレタルカ各界代表參加者僅ニ十餘名ニ過キス其ノ他民衆ノ集會游行ハ勿論傳單、標語モ見受ケラレス各機關ノ外一般ニ半旗ヲモ掲揚セス漢字紙ノ如

外務省

S 1.1.1.0 - 16

758

177

キモ九、一八ニ關スル記事ヲ全然掲載シ居ラス市中極メテ平靜ナリシカ右ハ官憲側ノ嚴重取締ニ依リタルモノト認メラル尙南昌ニ於テハ特別警戒ヲ施行シ民衆ノ集會、游行並ニ傳單ノ撒布等ヲ禁シ特ニ邦人婦女居住附近ニ對シテハ嚴重警戒セル由ナリ委細公信  
(支ヨリ) 北平、南京、漢口へ轉電シ上海へ轉報アリタシ

外務省

S 1.1.1.0 - 16

759

178

電信課長

大臣

次官

東亞 歐亞 米洲 通商 條約 情報 文化 調查 人事 文書 會計 秘書官

寫送先

昭和11 一八〇六九 暗

雲南 十九日後發  
本省 九月十九日夜着

有田外務大臣

川南領事

第五一號

九、一八五週年紀念日當日ハ省黨部ニ於テ紀念大會ヲ開催スル豫定  
ニテ之カ準備ニ着手シ各機關ニ對シ代表ノ參加ト半旗ノ掲揚方ヲ通  
告スル一方公安局ニ於テハ市内ノ各娛樂場、料理店、茶館等ニ對シ  
營業停止ヲ命スル所アリタルカ國民政府行政院長及中央黨部宣傳部  
ヨリ省政府主席竝ニ省黨部ニ對シ右紀念日ニハ集會、演說、游行ヲ  
禁止スル旨ノ訓電到達セル趣ニテ（省政府ニ對シテハ外人ノ保護ヲ  
嚴重ニ爲スヘキ旨附加シアリ）之カ爲當日ハ省政府機關新聞カ論說

外務省

ヲ掲ケ娛樂場、料理店等休業セル外省黨部ノ紀念大會モ中止トナリ  
半旗モ掲揚セラレス極メテ平穩ニ過キタリ

支ヘ轉電セリ

支ヨリ南京ヘ轉報アリタシ

外務省

180

1 S 1.1.1.0 - 16 761

179

1 S 1.1.1.0 - 16 760

寫送先

電信課長  
大臣  
次官  
東亞  
歐亞  
米洲  
通商  
條約  
情報  
文書  
調查  
人事  
文書  
會計  
秘書官

昭和11 一八一〇六 略 漢口 十九日後發 9.21 亞  
 本省 九月二十日前着

有田外務大臣  
 第二七七號  
 長沙發本官宛電報  
 第六七號  
 大臣へ轉電アリタシ  
 第六二號  
 九、一八紀念日ハ支那側ノ嚴重警戒裡ニ何等ノ催モ行ハレス無事經過セリ(了)

外務省

S 1.1.1.0-16

763

182

寫送先

電信課長  
大臣  
次官  
東亞  
歐亞  
米洲  
通商  
條約  
情報  
文書  
調查  
人事  
文書  
會計  
秘書官

昭和11 一八一二七 略 張家口 二十日前發 9.21 亞  
 本省 九月二十日後着

有田外務大臣  
 第一八九號

九、一八紀念日ニ當リ當地ニ於テハ特ニ民衆集會場所タル劇場、遊戯場ハ營業ヲ停止シ邦人居住地帶タル橋東一帶ハ武裝巡警ヲ配置シ居タル外市内一般平穩裡ニ終始セリ尙包頭、綏遠、大同各派駐員ヨリノ通報ニ依レハ各地紀念行事舉行セラレス平穩ナリシ趣ナリ支、北平へ轉報アリタシ

中根領事代理

外務省

S 1.1.1.0-16

762

181

寫送先

大臣 次官 電信課長  
東亞 歐亞 米洲 通商 條約 情報 文書 調查 人事 文書 會計 秘書官

昭和11 一八〇七九 暗 哈爾濱 九月十九日夜着 9.21 亞

有田外務大臣

第一六五號

本官發滿宛電報

第三八二號

九、一八紀念日前後ニ關シテハ特ニ命令モアリ旁關係各機關ト聯絡  
嚴重警戒セルモ何等事故無ク經過セリ

大臣へ轉電セリ

外務省

S 1.1.1.0 - 16

765

184

寫送先

大臣 次官 電信課長  
東亞 歐亞 米洲 通商 條約 情報 文書 調查 人事 文書 會計 秘書官

昭和11 一八〇〇六 暗 漢口 九月十八日後發 9.20 亞

有田外務大臣

第六六號

鄭州發本官宛電報

第一一號

大臣へ轉電アリタシ

第七號

當地ニ於テハ縣黨部ニ各界ノ主ナル代表集合九、一八紀念會ヲ舉行  
セル外排日抗日ノ宣傳又ハ游行等ナク平穩ニ經過セリ

(漢口ヨリ)支、南京へ轉電アリタシ

外務省

S 1.1.1.0 - 16

764

183

電信課長

大臣

次官

東亞 歐亞 米洲 通商 條約 情報 文書 調查 人事 文書 會計 秘書官

寫送先

昭和11 一八〇六〇 略

上海 十九日後發  
本省 九月十九日後着

9.21

亞

有田外務大臣

若杉總領事

第四〇二號

往電第三九四號ニ關シ

九、一八當日ハ支那側ニ於テ最近稀ナル警戒振ヲ示シタル爲抗日諸團體ノ各種不穩計畫ハ殆ト抑壓セラレ市内概シテ平穩ニシテ一部商店等カ半旗ヲ掲ケ(各公共機關等ハ市政府ノ通達ニ依リ全然掲揚セス)タルニ止マリ例年舉行セラレタル市黨部紀念式モ舉行セラレス尤モ當日上海市郊外ニ豫テ建設中ノ九、一八紀念碑地鎮祭アリタル爲右ニ赴キタル支那民衆ト公安局員トノ間ニ小競合アリ又十七日夜

外務省

ヨリ市内ニ九、一八抗日「ピラ」等ヲ撒布シ工部局及公安局ニ檢舉セラレタル者二十餘名アリタリ  
北平、在支各總領事、厦門、滿ニ轉電シ、支ニ轉報セリ  
滿ヨリ關東局總長ニ轉報アリタシ

外務省

S 1.1.1.0 - 16

767

186

S 1.1.1.0 - 16

766

記185

電信課長

大臣  
次官

東亞 歐亞 米洲 通商 條約 情報 文書 調查 人事 文書 會計 秘書官

寫送先

昭和11 一八〇五九 暗

北平 十九日後發  
本省 九月十九日後着

9.21 亞

有田外務大臣

花輪書記官

第四八四號

往電第四七五號ニ關シ

九、一八紀念日當日北平全市ヲ通シ支那側當局ノ取締振從來ニナキ  
嚴重ヲ極メ即チ軍警督察署、憲兵司令部、公安局協同シテ早曉ヨリ  
警戒ニ任シ各種巡察隊ヲ繰出シ主要街路ノ入口、外國居留民ノ住宅、  
店舖ノ附近及各學校ニ巡警ヲ配置シ保安ニ當ラシメタルニ付僅ニ北  
平大學ニ於テ聯合紀念會並ニ東北、師範、精華、燕京ノ各大學及東  
北中學内ニ於テ夫々簡單ナル紀念式アリタルノミニテ游行其ノ他何

外務省

S 1.1.1.0 - 16

768

187

等ノ催ナク至極平穩ニ經過セリ  
支、滿、在支各總領事、張家口へ轉電セリ

外務省

188

S 1.1.1.0 - 16

769

寫送先

大臣 次官 電信課長  
東亞 歐亞 米洲 通商 條約 情報 文書 調查 人書 文書 會計 祕書官

昭和11 一八〇八四 暗 漢口 十九日後發 亞、情  
 本省 九月十九日夜着 9.21

有田外務大臣 三浦總領事

第二七〇號

重慶發本官宛電報

第五七號

大臣へ轉電アリタシ

第七四號

往電第七三號ニ關シ

當地官憲ハ九、一八紀念日ニ際シ一切ノ集會、游行等ヲ禁止シ市内ノ取締ヲ嚴ニシタル爲何等催進ナク巴縣政府、中央憲兵第三團本部

外務省

S 1.1.1.0 - 16

771

190

寫送先

大臣 次官 電信課長  
東亞 歐亞 米洲 通商 條約 情報 文書 調查 人書 文書 會計 祕書官

昭和11 一八〇四五 暗 芝罘 十九日後發 9.21 亞  
 本省 九月十九日夜着

有田外務大臣 田中領事代理

第八三號

昨九、一八紀念日ハ芝罘、龍口、威海衛トモ極メテ平穩裡ニ經過セリ

支、滿、天津、青島、濟南、南京、北平へ轉電セリ

外務省

S 1.1.1.0 16

770

189

寫送先

電信課長  
大臣  
次官  
東亞  
歐亞  
米洲  
通商  
條約  
情報  
文書  
調查  
人事  
文書  
會計  
秘書官

昭和11 一八〇五六 暗 蘇州 十九日後發  
本省 九月十九日夜着 亞、情  
有田外務大臣 川西領事

第二五號

昨九、一八紀念日午前九時ヨリ當地中山堂ニ各機關ノ代表者等數十名集合舉式セルモ民衆ノ參加ヲ許サス且主催者タル黨部特派員不在縣長モ出席セス唯黨部員及公安局長ヨリ成都、北海事件相次テ起リ國交愈重大ナル際國民ハ心身ノ鍛練實力ノ充實ヲ計リ救國ニ邁進スヘシトノ演說アリ散會セル外各機關ハ半旗ヲ掲ケ歌舞音曲ヲ停止セルモ官衙、學校ハ平常通りニテ縣當局ハ各派出所及日本租界附近ノ巡警ヲ増員シ且憲兵、巡警ヲ以テ巡邏班ヲ組織市中ノ警戒ニ當ラシ

外務省

S 1.1.1.0 - 16

773

192

及小學校其ノ他二、三商店ニ於テ半旗ヲ掲揚セルモノアリタルノミニテ平常ト異ラス極メテ平穩ニ經過セリ  
尙新聞ハ何レモ激越ナル筆致ヲ以テ當時ノ事情ヲ述ヘタル後徒ニ慷慨スルコトヲ已メ力ノ養成ニ努力セヨト論シ居レリ  
漢口ヨリ支、北平、南京へ轉電アリタシ  
支ヨリ上海へ轉報アリタシ

外務省

S 1.1.1.0 - 16

772

191



寫送先

電信課長  
大臣  
次官  
東亞  
歐亞  
米洲  
通商  
條約  
情報  
文化  
調査  
人事  
文書  
會計  
秘書官

メ游行、傳單撒布等ノコトモナカリキ  
尙新聞紙中吳縣、蘇民、吳縣市郷公報等二、三ノ論評、記事アリ早  
報ハ一頁ニ亘ル專刊ヲ出シタルモ何レモ失地恢復ノ實ナキヲ嘆シ國  
民ノ覺醒ヲ促ス程度ニ止マリ極メテ平靜ナル一日ヲ過セリ  
支、南京へ轉電セリ  
支ヨリ上海へ轉報アリタシ

外務省

S 1.1.1.0-16

774

193

昭和11 一八〇六七 略 漢口

本省 九月十九日夜着

9.21

亞、情

有田外務大臣

三浦總領事

第二六七號

九、一八紀念日當日ハ省、市、鐵路特別黨部等ニ於テ例年通り夫々  
紀念會ヲ舉行シ各機關ハ半旗（早朝丈ケ）ヲ掲ケ支那街劇場、映畫  
館等モ休業シ日本租界隣接地帯及支那街目抜ノ箇所ハ警備司令部及  
公安局員ニテ特別警戒ヲ爲シタルカ學校ハ休業セス傳單ノ撒布、游  
行等モナク市中ハ平常ト異ル所ナク極メテ平穩裡ニ經過セリ主ナル  
新聞ハ社説ヲ掲ケ國民ノ自重奮闘ヲ強調セルカ何レモ論旨穩健ニシ  
テ且九、一八ノ文字及記事ハ全然之ヲ掲載シ居ラサル處右ハ中央ヨ

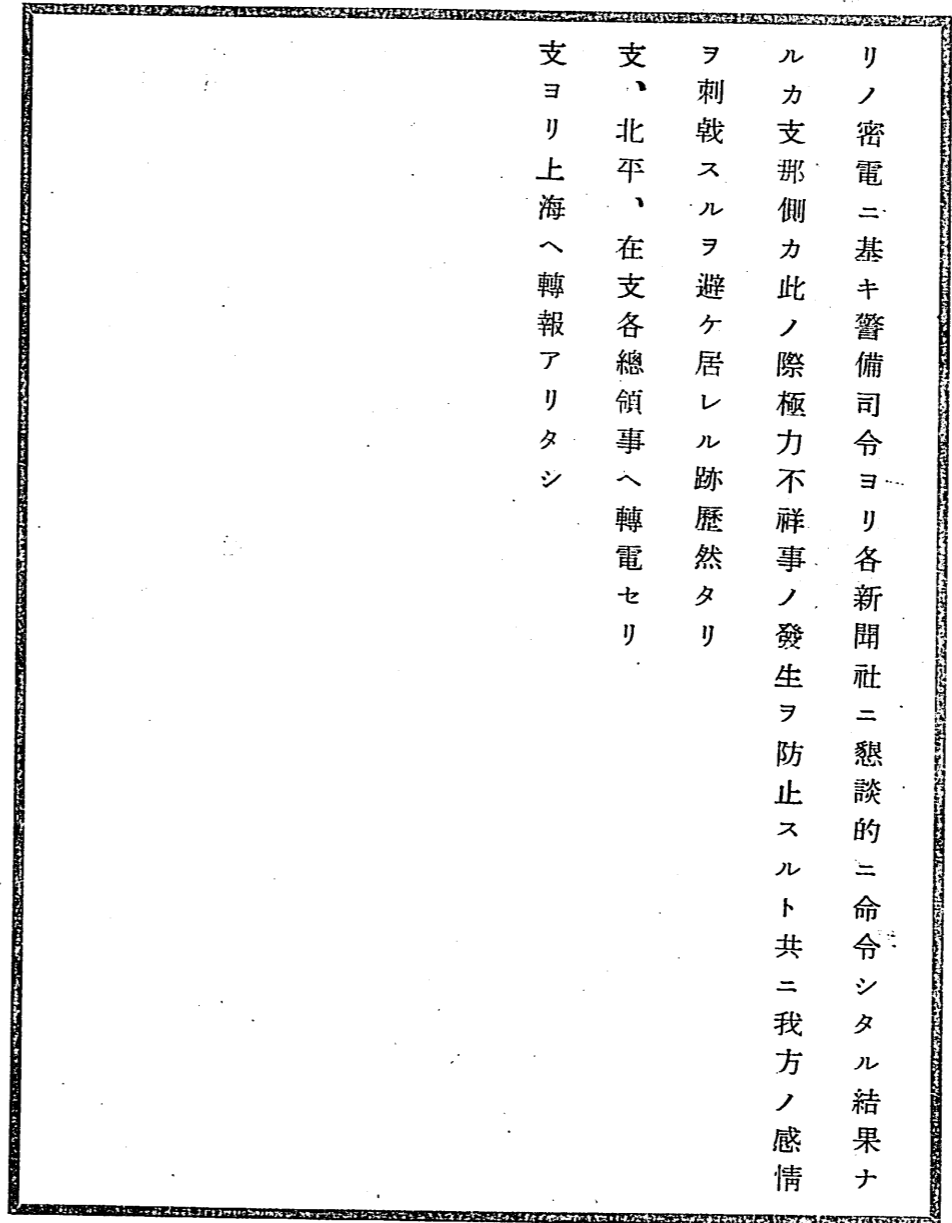
外務省

S 1.1.1.0-16

775

194

リノ密電ニ基キ警備司令ヨリ各新聞社ニ懇談的ニ命令シタル結果ナ  
 ルカ支那側カ此ノ際極力不祥事ノ發生ヲ防止スルト共ニ我方ノ感情  
 ヲ刺戟スルヲ避ケ居レル跡歴然タリ  
 支、北平、在支各總領事ヘ轉電セリ  
 支ヨリ上海ヘ轉報アリタシ



外務省

195

18 1.1.1.0 - 16 175

4 (4)

陸軍 同 文  
 參謀次長宛

支那駐屯軍參謀長  
 昭和九年九月九日  
 支那國軍參謀長  
 196

本十八日午後ニ於ケル北平、天津地方一般ノ  
 情勢ハ支那側ノ警戒戒嚴重ニシテ及日滿的行動  
 ト認ムヘキモノ殆トナク頗ル平穩ナリ  
 尚夜間ヲ監視中ナリ  
 關上、北、南、濟、廣、漢、山、承、張、綏、北、滿、太、ス、ミ

18 1.1.1.0 - 16 777

秘

東亞局

Handwritten signature

一九一九

次 次  
長 官

三 艦 隊 參 謀 長

Vertical handwritten notes in a box

197

廈門本日ノ記念日ハ黨部ニテ記念式ヲ擧ゲタル外市中銀行會社等半旗ヲ揭ゲタル程度ニテ平穩ニ經過セリ。

一九一九〇九〇一

18 1.1.1.0 - 16

778

Vertical handwritten notes: 已録件者掛日狀況關係九一八記念日

一一九一九

〇八二五  
一〇二二

安宅 發  
電信所受

(一六七〇)支一

198

普 在漢口中津武官

次 官、駐滿海、十一戰隊、五水戰、特陸、旅要、馬要各司令官  
長、在支館附、支那各地駐在各武官、三艦隊參謀長、佐藤

漢普第八八番電

778 779

漢口ニ於ケル九・一八記念日ハ支那當局ノ嚴密ナル警戒裡ニ事故ナク經過シ  
市内ノ情勢ハ從來當テ見ザル平穩ヲ呈セリ新聞紙上ニ於テモ九・一八事件ニ  
關スル論說等殆ンド之ヲ見受ケズ。

一九一九〇八〇〇

18 1.1.1.0 - 16

部A門/観/漢口日 5-7

東亞局  
機密第一九七號

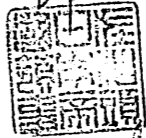
第二課

昭和十一年九月十九日

昭和十一年九月卅日 接受

在汕頭

領事 山崎 誠一郎



外務大臣有田八郎 殿

九、一八紀念日情況報告ノ件

本件ニ関シテハ成都北海事件ニ関聯シ日支兩國  
共一般ニ民心緊張セル折柄ニモアリ當館署員孰シ  
モ豫警ニ努メ且御訓令ノ次第モアリ支那側ニ警告  
ヲ與アルト共ニ居留民ニモ警告シ十三日以来碇泊中  
ノ驅逐艦秋風トモ聯絡シテ支那側ノ行動ヲ監視

セシガ其情況左ノ如シ

一、當市廳ハ當館ヨリノ警告告モアリ殊ニ前夜邦人広  
志洋行ニ爆弾投込事件モアリタルヲ以テ公安局  
ヲシテ市街配置ノ巡警ヲ増員シ且諸所ニ小銃ヲ携帶  
セル武装巡警ヲ復哨ヲ配セル等相當警戒振リ示シ  
紀念日遊行宣傳貼紙傳單口號ノ配布ヲ禁止  
シタリ

二、牛旗掲揚ハ各官衙共午前中ニテ午後八平常ニ復  
シ市民一般ハ國旗掲揚ナク市内ハ頗ル平穩ニテ何  
等異常ナレ民衆ハ紀念日ニ無関心ナルカ故ニ巡警  
ノ警戒振リヲ見テ何事ナルカト懸念スモ模様ナ

リ  
註市民國旗掲揚ナキハ公安局指令ナキ為メナリト

S 1.1.1.0 - 16

781

S 1.1.1.0 - 16

780

199



三市黨部ノ各界ニ好スル紀念日大會招待案ハ尤記ノ  
通りナルモ大体簡短ニ実行サレ講演者ニ三名止  
マタタリ

紀念日大會招待案

九月十八日ハ九一八五週年紀念日ニシテ全市各界ハ  
頗ラク當日ニ於テ半旗ヲ掲揚シ哀悼ノ意ヲ表スヘク  
尙當日午前十時本黨部大禮堂ニ於テ紀念大會ヲ  
挙行スルニ付ヤ定刻各區黨員須ラク全員出席ス  
ヘク各機關團体ハ各五名宛各中學校ハ十名宛  
各小學校ハ五名宛ノ代表ヲ派シ未會参加セラレ  
度ク以テ紀念ノ意ヲ表セラルベシ

四市黨部内大會當日模様(概要本月中旬電報々々通り)  
汕頭市各界ハ市黨部ノ召集ニヨリ本日午前十時

ヨリ市黨部禮堂ニ於テ九一八紀念大會ヲ開催ス  
出席者市黨務委員鄭俊英等四名、綏靖公署  
辦公廳吳科員外、市政府市商會並ニ各公會代  
表及現在市黨部ノ令下ニ活動シツ、アル工友會ノ工  
人等總計約四百名出席ス

特ニ今回中央ヨリ汕頭ニ派遣サレタル黨務特派員  
兼当地民園日報(國民黨機關紙)社長タル陳  
特向氏ト黨務視察員タル陳述經兩氏ノ末場ヲ  
求メ訓示ト紀念意義ノ演説ヲ行タリ

(一)陳特向氏ノ演説内容

九一八ノ紀念日ニ當リ各界諸氏ハ中央政府存亡  
衷意旨ヲ解サレタシ各界ハ文明人ノ態度ヲ以テ  
冷靜ニ中央ノ好日本ニ對スル一切ノ準備完了ヲ俟フベシ

我蔣委員長八國內ノ同胞ヲ苦シメ日本ヲ恐ルヘカ如キ  
モノニ非ラス各界ハ此点ヲ充分念頭ニ置キ類々多ク謹慎  
シ殊ニ軌道ヲ逸レタル行動ニ出テ相争田本ノ口實ニ  
乘セザルガ如キニトアルヘカラス  
各界諸君ハ中央ノ討日最後ノ準備整ヒタル曉中央  
ノ命令一下國民政府ニ服従シ國民トシテ國ニ報ズル  
ノ覺悟ナカルヘカラス

依テ現在ノ処中央ノ命令ニ従ヒ新生浩運動ヲ推行シ  
我國ノ旧道徳ヲ復興セヨ但シ現在暴國日本ハ我國  
ノ統一運カナルヲ阻止スベク成都北海事件ノ例ヲ以  
テモ如ルシ得バク討画的ニ我國ヲ滅亡セントシツクア  
ルモノナリ

各界諸君ハ國家觀念ニ重点ヲ置キ道中利誘ニ違ハス

敵人ノ為メニ便宜ヲ興フルガ如キ事アルヘカラス聞知ス  
ル処ニ依レハ当地民衆中ニハ利誘ノ為メニ敵人(暗ニ  
日本人ヲ指ス)ノ為メニ仕事ヲナス者アル由此点特ニ猛省  
ヲ要ス(言外ニ排日貨ノ意ヲ含メタリ)

(二) 陳述経ノ演説ハ前項陳特自氏ノソレト大同小異ナリ

(三) 公安局代表者ノ報告

公安局ニ於テハ本日特ニ治安維持上崎嶇路商平  
路其他各重要馬路ニ友ニ巡整理ノ巡警ノ外一名ノ  
実強携帶武装巡警ヲ増配セリ

五九一八紀念當日ノ星華日報社説

九一八ノ事変ハ瞬間既ニ五週年到來セリ此事  
表タルヤ實ニ中華民族史上ニ於ケル最大恥辱  
ノ一頁ニシテ是全國民衆ノ永遠ニ忘ル能ハザル

一、慘痛紀念日ナリ

然ルニ此同一日甲ニ一方ハ狂歡的ニ慶祝シ爲シ一方ハ沈痛悲悼シ爲シ居レリ而シテ彼等ハ如何トテ如斯狂歡的ニ慶祝ヲ爲スベキヤ是ハ彼等カ此五年間ニ何ノ力量カモ費消セヌレテ本國ヨリモ五倍大ノ土地ヲ領得シ九千萬ノ奴隸、豊富ナル石炭、鉄、銅、鑛産、廣漠タル草原ノ産地、肥沃ナル棉田、麥田、廣大ナル商品市場ヲ獲得シ遂ニ甲國ヲ滅亡セシムヘキ根拠地ヲ得タルカ爲メナリ且ツ最近ニ至リ更ニ一層飛躍發展シテ綏遠ヨリ北平、天津ニ至リ、成都ヨリ上海ニ至リ、山東ヨリ北海ニ至ル等彼ハ殘暴的侵襲ヲ策揮シ居ラザル処ナク遠カラス彼ハ一舉ニテ甲國ヲ吞没セムトシ居レリ如斯彼等ハ既ニ空前ノ勝利ヲ得テ豫期以上ノ收獲ヲ納メタル

S 1.1.1.0 - 16

786

カ故ニ甲國を慶祝セル如ク熱烈ニ慶祝セサルヲ得サルモノナラスや而テ茲ニ敵人ノ所得ハ即チ吾人ノ所失タルニトシ須ラク知ルベシ五年以來鉄ノ如ク事實カ吾人ノ眼前ニ顯然トシテ別ヘタリ是即チ吾人自己ノ土地カ一塊ノトシテ奪取カレ主權カ一件ノトシテ剝奪カレ同胞ガ一群ニ群トシテ殺滅カレ市場カ一個ノトシテ占拠カレ富強ガ一項ノトシテ掠ラレ僅々五年間ニ於テ嚴然トシテ甲國ノ如何シテ四分五裂破砕ニ堪ヘサル処ニ翻弄サレタリ然ルニ五年來ニ於ケル敵人カ吾人ノ國家ト民衆ト頭トニ加ヘタル一切ノ侮辱ハ即チ敵人ノ其地積ヲ計算シ盡サレサル吾人ノ血的債權ニシテ吾人ハ何レモ歴然トシテ心頭ニ堅ク記憶シ置ク処ニシテ今日ハ吾人ノ悲憤ヲ表示スヘキ時期ニ非ラスシテ吾人ハ須ゾク絶大ナル決心ヲ以テ抗敵

S 1.1.1.0 - 16

787

救亡ノ時機カ到来セハ所動ニ悉ク如ク又ヘキ之ノナリト  
 吾人ハ既ニ顯然ト認メテタルハ即チ今日以後ニ於テ  
 凡敵入ノ吾人ニ対スル侵略ハ只ク緊迫シテ決シテ輕緩  
 トシラス故ニ今日以後ニ於ケル吾人ハ類ヲ過去ニ於ケル  
 一貫的ナル不抵抗主義ノ策ヲ放棄シテ此全國平  
 和統一ノ機會ニ乘シ救亡ノ機ヲ捕ヘ想スル一切ノ  
 力量ヲ集結シ以テ決死ノ精神ヲ湘聖的民衆抗戰ヲ發揚  
 スヘシ今ヤ既ニ國家民族ノ最後ノ生死關頭ニ達者セト吾  
 人ノ現在期ス知ハ只ク臨死ニ於ケル最後ノ反抗ナリ吾  
 人ノ即刻敵入ト決死戰ヲ起ス決死ニ於テ生路ヲ  
 希セサルモノナリ共ニ國難ニ赴ク時代既ニ到来セリ希  
 望シテ國故トテラテ欲セラル人ヨ 即刻加速度ニ準備セテ  
 右報告ス

本信爲送付先

在火大使北平 南京 上海 蘇州 廣東 香港 厦門

台灣 總督府 外事課長



東亞局

第二課

昭和十一年九月廿八日接受

普通第二三五號

昭和十一年九月十九日

在九江

領事館事務代理 北村重英

外務大臣 有田八郎 殿



九・一八紀念日ニ於ケル狀況報告ノ件

本件ニ關シテハ時節柄不取敢其ノ概略電報ヲ以テ報告シ置キタル次第ナルカ當地方ニ於ケル當日ノ狀況ハ極メテ平靜ニシテ平日ト何等異リタル處ナク先般潘縣長兼公安局長並ニ陳警備司令ニ對シ口頭並ニ公文ヲ以テ夫々邦人ノ生命財産保護取締方ニ付嚴重要求シ置キタ

在九江日本領事館

204

18 1.1.1.0-16

790

11.9.26

ル次第モアリ(熊主席ニハ公文ヲ以テ要求シ置ケリ)當日ニ於ケル

官憲側ノ取締ハ頗ル嚴重ヲ極メ漢字紙ハ第三面ニ小サク縣黨部ニ於

テ九・一八國恥五週年紀念大會開催セラル、旨ノ外ハ何等九・一八

ニ關スル記事ヲ掲載セス尙當日右紀念會ニ各界代表ノ參加セルモノ

寥々十餘名ニ過キス頗ル氣勢揚ラサリシ由ニテ一方市中ニハ民衆ノ

集會遊行ハ勿論標語傳單ノ貼布散布モ見受ケラレス尙黨部方面ヨリ

一般民家ニ對シ半旗掲揚方<sup>アリタル</sup>指令由ニモ拘ラス各機關ヲ除キテハ一般

ニ半旗ヲ掲揚セルモノモナキ程ニシテ一般民家ハ紀念日ニ對シテハ

殆ト無關心ナリシヤニ認メラレタリ

南昌ニ於テモ各漢字紙ハ當局ノ抑壓ヲ受ケ第三面ニ左記ノ如キ公安

局傳達ヲ掲ケタルノニシテ例年ノ如ク九・一八ニ關スル盛澤山ノ記

在九江日本領事館

205

18 1.1.1.0-16

791

事モナク黨部機關紙ニシテ省内最大紙タル「江西民國日報」ノ如キ  
モ社評ヲモ掲ケス唯短評欄ニ於テ「吾人ハ本日言フヘキコト多々ア  
ルモ言フニ方法モナク内心ノ痛苦何ニカ喻ヘン一般民衆ニ對シ唯忍  
耐スヘント勸ムルモ事實ハ嚴然トシテ眼前ニ實在シ居リ父母ノ病篤  
ク既ニ再起ノ望ナシトスルモ豈之ニ投藥セサル理アラムヤ哀哉此ノ  
藥ヲ如何ニシテ與フヘキ」云々トテ暗ニ官憲ノ言論自由抑壓ヲ不滿  
ナリトシ失地恢復ノ要ヲ説キ居レリ又兎角各對日紀念日ニ民衆ノ音  
頭取タル省黨部ノ如キモ當日中山紀念堂ニ於テ國恥五週年紀念會ヲ  
開催シタルノミニテ一切排日的言動ヲ差控ヘ從ツテ官憲ノ取締モア  
リタルカ一般民衆ノ集會並ニ遊行等ノコトモナク何等事端ノ發生モ  
ナカリシ模様ナリ尙南昌ニハ現在邦人婦女五名アリ何レモ支那人ニ

在九江日本領事館

8 1.1.1.0 - 16

792

206

嫁キ居レルカ當日公安局ハ之等邦人婦女ノ居住地附近ニハ特ニ嚴重  
取締ヲ施セル由ナリ

左記

- 一、市内各軍憲ハ水陸交通ノ要地ニ對シテハ特ニ注意檢索スヘシ
- 二、旅館下宿並ニ學校等擔任ノ軍憲ハ檢査手續ニ依リ嚴重辨理スヘシ
- 三、情報者ハ聯絡ヲ保チツ、嚴密ニ職務ヲ行ヒ其ノ得タル情報ハ隨時軍警ニ報告スヘシ
- 四、本日ハ民衆ノ遊行及傳單ノ頒布ヲ禁止ス
- 五、紀念會場及城北新住宅區域ニ在ル外國人住宅ニ對シテハ省會公安局ハ管轄分局ヲシテ警戒人員ヲ増加シ且ツ省政府特務處ト協

在九江日本領事館

8 1.1.1.0 - 16

793

207

カシテ其ノ保護ニ務ムヘシ  
六各交通ノ要所ニハ軍憲ヲ臨時増加シテ之ヲ三人哨トシ集會遊行  
等ヲ制止シ尙保安團第十八團ハ前記新住宅地ニ巡查一斑ヲ派シ  
第九分局巡查ト協力スヘシ  
セ本日警備ノ全軍憲ハ嚴重警備ニ當リ擅ニ駐所ヲ離ルヘカラス  
右報告ス

本信寫送附先

大使 北平 上海 南京 漢口

在九江日本領事館

16 1.1.1.0-16

794

208-1

東亞局  
機密公第二三一號

昭和十一年九月十九日

在坊子

出張所主任 土屋 波

外務大臣 有田 八郎 殿

九、一八記念日當日ノ管内狀況報告ノ件

本件ニ關シ時局柄管下各地ノ情報蒐集ニ務メ一方支那側官憲ニ對  
シテハ記念日ニ當リ排日的遊行等ノ取締方等萬遺漏ナキ様注意ヲ  
促シ置キタル處ナルガ當日ハ管下各地ノ學校、鐵路部、其他一般  
民衆間記念日ニ對スル何等ノ行動ナク僅カニ濰縣ニテ發行スル「  
魯東日報」紙上ニ矢地回復等ノ記事ヲ掲載セル外平日ト異ナルト

在青島日本總領事館坊子出張所

昭和十一年九月廿八日接受

208-2

16 1.1.1.0-16

795

11.9.28

トナク平穩裡ニ經過セリ  
右不取敢報告申進ス

本信寫送付先 大使 南京 北平 青島 濟南

在青島日本總領事館坊子出張所

' 6 1.1.1.0 16

796

D 209

REEL No. A-0046

0402

アジア歴史資料センター

東亞局

機密第二五九號

昭和十一年九月十九日

第二課

昭和十一年九月廿六日接受

在山海關

副領事

原

二

吉



14

210



外務大臣 有田 八郎 殿

九、一八記念日ノ狀況ト其ノ反響ニ關スル件

最近續發セル成都事件及北海軍事件等ニ鑑ミ支那側ノ對日空氣ハ樂觀ヲ許サ  
ルモノアリ且ツ九、一八記念日ニ際シ抗日團體ノ發動情報モアリタルヲ以  
テ當地日滿支各機關ト連絡シ不祥事件ノ勃發ヲ未然ニ妨防止スル爲内査視察  
ヲ勵行スルト共ニ記念日當日ハ警戒一層加緊シ之ニ備ヘタルカ支那側官廳、  
工場、學校、其他一般商民ハ平常ノ如ク就業執務シ何等特殊ノ行事等行ハレ  
ス抗日團體策動ノ形跡モ無ク平穩ニ終始セリ  
尙日滿軍官民合同ノ下ニ記念行事舉行セラレ盛會裡ニ終了セリ

S 1.1.1.0 - 16

797

其ノ狀況左記御參考迄報告ス

左記

一、支那側ノ動向及態度

イ、日滿冀親善ヲ標榜セル冀東政府管下ノ當地支那側官廳ニ於テハ各種團體  
一般人ノ日滿側ヲ刺戟スルカ如キ行事ヲ嚴禁シ官吏自身モ亦表面的ニハ  
保身上反滿抗日の態度ヲ示シ盾ヲテカニ各種公安局長蘇玉琪ノ如キ  
ハ一種ノ「ゼスチニア」ニシテ左記ノ如キ親日滿の傳單ヲ洋車ニ貼付セ  
シメ「ラヂヲ」ヲ備ヘアル各商店ヲシテ十七日夜新京ノ記念放送ヲ公開  
セシメ一般ニ聴取セシムルト共ニ部下局員ヲ多數日滿合同記念行事ノ運  
動會ニ參加セシムル等積極的ニ親日滿の態度ヲ示セルハ注目スヘキモノ  
ト思料セラレ傳單

九、一八是世界和平開始の記念日

九、一八は大日本帝國實行東方道德の記念日共產主義の慘暴爲人所共羨

惟王道の政治是人所共仰的  
我們民衆須誠感謝大日本反邦

S 1.1.1.0 - 16

798

211

ロ、學生

當地學校中ニハ北寧鐵路局立扶輪小學校ノ如キ尖銳ナル國民黨員タリシ  
 教員ニ依テ指導セララルモノ教員及學生ノ大部分カ「キリスト」教徒ニ  
 シテ昨年「青年契團」ナル秘密團體ヲ組織シ（今春同校校長ハ日滿側  
 ヲ刺戟スルヲ冀レ解散セシメタリ）反滿抗日的空氣ノ濃厚ナル間、  
 容平津方面地方ノ學生運動ノ「シンパ」的役割ヲ演シタル學生ヲ多數  
 包含セル簡易師範等過去ニ於テ直接間接ニ抗日運動ニ關係シ相當注意ヲ  
 要スヘキ學校アルモ冀東政府ノ新壓、日滿機關ノ嚴重ナル監視、日滿側  
 ヲ刺戟スルヲ恐ルル學校經營者ノ過激分子取締ハ尖銳的抗日分子ヲ  
 逸セシメ目下活動ノ形跡ナク記念日當日ハ各學校共平常通り授業ヲ爲  
 シ特殊ノ行事ヲ行ハス<sup>田氏</sup>中學ノ如キハ日滿合同記念行事ノ運動會ニ學  
 生ヲ多數派遣參加セシメタリ  
 ハ其ノ他各機關並一校商民  
 北寧驛、同工廠、中國汽關其ノ他各機關並一校商民ニ於テハ半旗掲揚  
 休業、其ノ他特殊ノ行事等行ハ○ス平常通り就業シ抗日分子ノ策動ヲ爲  
 シタル形跡ヲ認メス

ニ、不逞分子ノ策動説

客夏玉田縣下ニ於ケル自治運動指導者ノ一人トシテセララル張鳳池ナル者  
 容<sup>田</sup>入<sup>田</sup>シ秘密裡ニ舊東北軍人ヲ糾合シ冀東各縣ニ滲入セシメ

攪亂セシメントスル計劃アリトノ情報アリタルヲ以テ板方内偵ニ努メ

ル處張ハ日滿支各機關ノ嚴重ナル警戒ノ爲不逞ノ徒糾合ス<sup>ヲ</sup>意ノ如クナ  
 ラス本月十日頃一時當地ヲ退去セル越ナルカ目下其ノ行動内査中ナリ

二、日滿警備機關ノ警戒

關東軍憲兵分隊、國境警察隊、奉山鐵路警務段等ノ警備機關ニ於テハ成  
 都事件及北海事件ニ鑑ミ九、一八記念日ニ際スル不祥事件<sup>發動</sup>ヲ嚴防セ  
 シカ爲去ル十六日朝十七日夜ノ二回ニ亘リ東羅城<sup>海關驛</sup>附近ノ一濟檢  
 索ヲ爲シタルカ何等抗日策動ノ形跡ヲ發見スルニ至ラス又不逞分子ノ檢  
 舉モ見○サリキ

三、日滿軍官民合同ノ記念行事

記念日當日ハ午前十時ヨリ東羅城飛行場ニ於テ特務機關、營館、北寧支  
 駐屯軍守備隊、關東軍鍛冶川部隊、關東軍憲兵隊、駐屯軍憲兵分遣隊國

境警察隊、警務段、日滿小學校、山海關及東羅城ノ所在郷軍人分會、國防婦人會、東羅城國防婦女會等ノ在關日滿各機關、各種團等軍官民ヲ網羅シ一部支那側公安局學生等參加シ記念行事舉行セラレタルカ模範戰、式典、野宴、運動會、ノ順序ニテ午後二時半盛會裡ニ散會セリ本記念式典ニ當リ滿人ノ參會者數百名アリ終始和氣を裡ニ各行事ニ協調セルハ當地未曾有ノ事ニ屬シ滿人側ニ漸次王道政治ノ浸潤理解セラレツツアル證左ナリト云フヘシ

本信寫送附先 天津

214

S 1.1.1.0 - 16

801

電信課長

大臣  
次官

東亞 歐亞 米洲 通商 條約 情報 文化 調查 人事 文書 會計 會社 秘書官

寫送先

昭和11 一八一二九 暗 濟南

本省 九月二十日夜着

9.22

亞、情

有田外務大臣

有野總領事

第一七五號

十八日滿洲事變記念日ニ於ケル當地ノ狀況左ノ通

(一) 十六日日本官ヨリ韓復榘及公安局長ニ對シ爲念注意ヲ與ヘ置キタルカ韓ハ當日一切ノ催物等禁止方訓令セル爲例年ノ如ク半旗ヲ掲ケタル者アルモ官廳其ノ他休業等ノコトモナク僅ニ省黨部ニ於テ黨部關係者ノ集合ヲ見タル程度ニテ游行、傳單ノ撒布等ヲ見ス平穩ニ經過セリ

(二) 新聞ハ多ク義務的ニ且簡單ニ各地通信等ヲ報道セン止マリタル

215

802

S 1.1.1.0 - 16

A. 1. 1. 1. 0 - 16

機密第二〇九號

昭和十一年九月二十日

在宜昌  
領事 田中正

外務大臣 有田 八郎 殿

九一八紀念日當日ノ狀況報告ノ件

當地ニ於ケル九一八紀念日ハ極メテ平穩ニシテ何等事故ナク無事經過セリ

宜昌縣黨部ニ於テハ例年ノ通り市内各界ノ代表者ヲ召集シテ紀念大

在宜昌日本領事館

S 1.1.1.0 - 16

804

217

東亞局

第二課

支那國境ノ日滿兩國ノ國境ニ於テ日滿兩國ノ國旗掲揚式ヲ行ヒ記念講演ノ後散會セリ

支、北平、天津、青島、南京へ轉電セリ

支ヨリ上海へ轉報アリタシ

昭和十一年九月二十日 接受

外務省

モ新亞日報ノミ論說ヲ掲ケ九、一八事變以後既ニ五箇年ヲ經過シ此ノ間日本ハ冀察綏晉ヲ侵シ密輸ヲ行ヒ壓迫日ニ甚タシキニ我國人カ既往ヲ忘レ無關心ナルハ嘆カハント論シ其ノ他二、三短評ヲ掲ケタルモノアルモ論旨平凡ナリ

(三)日本側ハ午前中在郷軍人會主催ノ下ニ忠魂碑境内ニ於テ日滿兩國ノ國旗掲揚式ヲ行ヒ記念講演ノ後散會セリ

支、北平、天津、青島、南京へ轉電セリ

支ヨリ上海へ轉報アリタシ

S 1.1.1.0 - 16

803

216



會ヲ舉行シ全市一律半旗ヲ掲揚シテ哀悼ノ意ヲ表セント計畫シ本月十六日各方面ニ參加方通牒ヲ發シタルモ王專員丞朱師長金公安局長等當地主腦官憲側ニ於テ時局柄右大會舉行ニ氣乘薄ナリシタメ當日縣黨部ハ午前九時黨部代表者ノミノ形式的紀念會ヲ舉行シ演說講演遊行其他ノ「デモンストレーション」ハ行ハス約三十分ニシテ終了セリ

當日朝一般商舖ハ黨部ヨリノ通牒ニ依リ半旗ヲ掲ケタル向アリタルモ間モナク公安局長ノ命ニ依リ全部引下サシメタリ又當日早朝ヨリ翌早朝ニ至ル間市内ハ特別警戒ノタメ公安局全員出動セル外第九四師便衣偵察隊モ出動シ排日分子ノ策動反動分子ノ不穩行動ヲ嚴重查察取締リ殊ニ當館附近ニハ特別警戒隊巡警七八名ヲ派出シ又在留邦

在宜昌日本領事館

S 1.1.1.0 - 16

805

218

人ノ住居附近ハ入念ニ警戒シテ保護ノ實ヲ示セリ又當地漢字新聞ハ何レモ冷靜ノ態度ニ出テ居タル模様ニテ當日及十七日ノ紙上ニ縣黨部主催ノ記念大會召集廣告ノ記事ヲ掲載シタルノミナリ

右報告ス

本信寫送付先

在支大使 南京 上海 漢口 北平 天津 重慶 沙市 長沙  
九江 鄭州

在宜昌日本領事館

S 1.1.1.0 - 16

806

219

東亞局  
普通第二五四號

昭和十一年九月二十日

昭和十一年拾月九日 接受

在長沙

領事代理 高井末彦



外務大臣 有田 八郎 殿

九一八紀念日狀況報告ノ件

長沙ニ於ケル九一八紀念日ハ豫メテ支那側ニ嚴重取締方申入シ置キ  
タル結果（本月十八日附機密第二五三號拙信参照）支那側ノ嚴重警  
戒裡ニ無事經過シタルカ當日ハ省黨部禮堂ニ於テ型許リノ紀念式舉

S 1.1.1.0 - 16

807

220

行セラレタルノミニテ參會者極々氣勢昂シス半旗掲揚、遊行、傳單  
等ノ配布等ノコトモナク平凡ニ終レリ

右報告ス

本信寫送付先

大使 北平 上海 南京 漢口 廣東 重慶 宜昌 九江

221

S 1.1.1.0 - 16

808

機密第三四〇號

昭和十一年九月二十一日

在廈門

領事 山田 芳 太



外務大臣 有田 八郎 殿

九、一八紀念日狀況報告ノ件

九、一八紀念日ニ當リ排日運動ノ取締及居留民保護方ニ關シ市長（申入レノ次第ハ本月中旬電報報告ノ通ナル處一方前日館員ラシテ當地共同租界工部局ニ對シ同様申入レヲナサシメ置キタルカ當日ノ一般狀況左ノ通ナルニ付右報告申進ス

本信寫送附先

大使 北平 在支各總領事 臺府 五水戰 臺灣軍 馬公

在廈門日本帝國領事館

- 一、廈門市内及鼓浪嶼ヲ通シ官廳、銀行、學校等ハ半旗ヲ掲揚セル  
モ一般市民半旗掲揚者ハ極メテ少ク最モ繁華ナル中山路ニ於テ  
スラ四五ヶ所ニ過キス
- 二、官廳、學校等ニ於テモ休務又ハ休校スルコトナク市民モ休業シ  
居ルモノナク一般ニ平常ト異ナラス
- 三、紀念日關係ノ傳單標語等ヲ撒布又ハ貼付シ若クハ反日的落書等  
ヲ認メス（但シ後記七参照）
- 四、當日廈門大學校庭ニ於テ上海學生聯合會ヨリ送付シ來レル紀念  
印刷物（入手次第詳報ス）ヲ學生ニ配布シタルモノアル由ナルモ  
學生ノ紀念日集會其ノ他反日的策動ト認ムヘキモノナシ
- 五、市黨務特派員辦事處ニ於テハ午前九時ヨリ紀念式ヲ舉行セルカ  
（本官ヨリ市長ニ對シ紀念式取止メ方要求セルニ對シ市長ニ於  
テ出來得ル限り盡力スル旨言明セル次第ハ拙電報告ノ通ナルカ  
十七日夕刻市政府陳外交參事ヨリ本官ニ對シ電話ヲ以テ市長ニ

在廈門日本帝國領事館

於テ黨務特派員ニ取止メ方種々交渉セルモ黨部トシテハ當地ノミニテ中止スルコトヲ得スト稱シ居リ市長ニ於テモ「デリケート」ナル立場ニアルニ付簡單ナル儀式ヲ行フコトハナキ御諒承ヲ請フ旨申越セリ。副會者ト學校各種團體等ノ代表者約二百名（市長其ノ他市政府關係者ノ出席ケル）ニシテ席上司會者謝心銘ヨリ「東北既ニ滅亡セリ諸君ハ須ラク團結一致スヘシ然レトモ徒ラニ一時的興奮ニ動カサルコトナク又眞ノ眠レル獅子トナラサル豫戒心ヲ要ス」トノ趣旨ノ演説ヲナシ二十分ニシテ式ヲ終リタル事ナリ

六、當日市公安局ニ於テハ市内要所ニ巡警ヲ増派シ警戒取締ニ當ラシメタル處前記ノ如ク當日唯一ノ集會タル黨部ニ於ケル紀念式モ極メテ靜肅ニ散會シ其ノ他市中遊行等モノナキニ付手持無沙汰ノ有様ナリシ由

七、共產黨關係者ニ於テ反日反中央策動ヲ爲スヤノ聞込アリタルカ

在厦門日本帝國領事館

S 1.1.1.0 - 16

811

224

其ノ事ナクシテ經過セリ只市内四ヶ所ノ民屋ニ左記ノ如キ落書ヲナシタルモノアリ共產黨關係者ノ仕業ト目セラル

一、失業工人聯合起來參加革命戰線

一、收復華北失地

一、打倒帝國主義

一、消滅藍衣者

一、反對國民黨對日的妥協

一、擁護蘇維埃革命紅軍

一、工農革命成功萬歲

八、當日各漢字新聞ハ何レモ九、一八紀念特輯ノ如キモノヲ掲載セルモ特ニ奮激ナルモノヲ認メス尤モ皇光日報ハ別記ノ如キ社論ヲ掲載セルニ付右要譯ス

在厦門日本帝國領事館

S 1.1.1.0 - 16

812

225

星光日報九月十八日

記

社

論 「九、一八」五週年ニ際シテ

九、一八事變勃發シテカラ茲ニ五年其間舊恨新憂重ホテ來ヨコ  
トハ吾人ニ無限ノ悲憤ヲ興ヘルト同時ニ吾人ノ負フ責任ノ嚴重大  
ナルヲ覺エルモノデアル

惟フニ九、一八事變後敗日ナラズシテ東三省ハ「友邦」ノ占領  
スル所トナリ續イテ熱河ヲモ喪失シ塘沽協定・梅津何協定カ相續  
イテ締結サレタ云々ニナツテカラ冀東ニハ偽政府カ成立シ特設祭モ  
獨立スルコトトナリ防共協定締結ノ結果華北内蒙ヲモ喪失シテシ  
マツタ最近旅順北海事件ニヨツテ「友邦」ハ更ニ軍艦ヲ派遣シテ  
長江ヲ封鎖シ又海南島即時占領ヲ主張スルモノサヘアル過云五ヶ  
年間ニ於ケル中國ニ對スル「友邦」ノ侵略ハ愈急ニナリ民族ノ危  
機モ益々迫ツテ來テ居ルカ今ヤ東北ノミナラス華中華南マテカ絶

在厦門日本帝國領事館

226

813

S 1.1.1.0 16

大ナル脅威ヲ感シツ、アルコノ確ニシテ「友邦」ハ中國ヲ縛セン  
ト企圖シテ居ルノ事

「友邦」ノコノヤウナ狂的行爲ハ彼等ノ武力ニモ因ルカ又吾國  
ノ對外軟弱外交ノ然ラシメタ所チキアチウ若キルト一八ノ日ニ盛  
力ニ抵抗シ又ハ東北義勇軍十十九路軍ノヤウナ有刀ヲ援助カアツタ  
ナラハ吾等ノ「友邦」ハ今日ノヤウナ傲然ナ態度ヲ採ラヌ又中國  
モ今日ノ如キ危儀ニ遭遇マヌニ濟ンタテアラウサレハ眼前ノ唯一  
ノ要務ハ對外政策ノ改變ニアルト云フコトモ必然的ナコトデアル  
過去ニ於テハ吾國ノ軟弱外交ノ原因ハ國內ノ未統一ニアルトナシ  
海外ヨリモ治内ノ急務ナルコトヲ説ク向モアツタカ事實カラ云ヘ  
ハ確カニ國內ノ統一未完瓜ノタメニ海外ニ至ラナカッタコトハ確  
テアル然シ今ヤ廣東、廣西問題カ解決全國既ニ統一サレタ埋田テ  
「海外」ノ障害カ失クナツタノ事今コソ當局ニ於テ前言實踐ノタ  
メニ神聖ナル民族鬪争ヲ指導スルナラハ全國統一ノ基礎カ愈々鞏

在厦門日本帝國領事館

227

814

S 1.1.1.0 16

固ニナルノミナラス失地回復モ決シテ至難テハナイテアラウ  
九、一八以後敵人ノ侵略ハ日ニ日ニ強度ヲ加ヘツ、アルカラ  
吾等ハ全國上下團結シテ立チ抗敵スル以外ニハ救國ノ路カナイノダ

在厦門日本帝國領事館

S 1.1.1.0 16

815

228

REEL No. A-0046

0412

アジア歴史資料センター

東亞局

第二課

昭和十一年拾月拾日 接受  
在沙市日本帝國領事館

公報第一二二號

昭和十一年九月二十一日

在沙市

領事館事務代理 國 部 政 助



外務大臣 有田 八郎 殿

「一九、一八」紀念日状況報告ノ件

成都事件及北海事件等不詳事件ノ續報及「一九、一八」紀念日ノ経過ニ鑑ミ九月十三日當地ノ實方者タル鄂、湘、川總區剿匪總司令部參謀長ヲ訪問シ充分手配方要索ノ次第アリタル處當地ニ於ケル紀念日

在沙市日本帝國領事館

230

S 1.1.1.0 - 16

816

當日ニハ草、政、學、商各界トモ紀念式ノ舉行ヲ希サス又一般民衆ノ集會、標語ノ貼付傳單散布等ヲ禁止シ例年官廳衙方面ニハ若干午旗ノ掲揚アリタルモ本年ハ之ヲ見受ケス並ニ平穩ニ経過シ、鄂湘川總區剿匪總司令部及公安局ニテハ行政院及軍事委員會ヨリ訓令アリタル由ニテ草警ヲ増派シ特ニ洋碼頭（汽船ノ發着及外人ノ多ク居住スル地域）方面ヲ嚴重警戒シ居タリ。

右報告ス

本信寫送付先  
在文大使 上海 南京 漢口 宜昌 重慶 九江 長沙

S 1.1.1.0 - 16

817

東亞局

第二課

昭和十七年九月廿八日接収

機密第二一四號

昭和十一年九月二十二日

在博山

出張所主任

早崎

真

博山日本  
事務所  
早崎真

外務大臣 有田 八郎 殿

管内九、一八紀念日ノ狀況ニ關スル件

博山

昨年九月黨部解散以來民衆ハ排日的指導機關ヲ夫ヒタル一方省  
主席復舊ノ勸令ニ基キ縣政府ニ於テハ排日ヲ目的トセル一切  
ノ集會ヲ嚴禁取締ヲ勵行シ來タリタル爲九、一八紀念日ハ排日

在濟南日本帝國總領事館博山出張所

232

231

S 1.1.1.0 16

818

233

標語ノ貼布傳單ノ散布等ナク平穩裏ニ經過シタリ  
三潘川、南定

博山同様河等排日工作ナク極メテ平穩ニ終リタリ  
右報告申進ス

在濟南日本帝國總領事館博山出張所

S 1.1.1.0 16

819



電信課長

大臣  
次官

東亞 歐亞 米洲 通商 條約 情報 文書 調查 人事 文書 會計 秘書官

寫送先

105-7

昭和11 一八四七九

北平 九月廿四日後着

亞

有田外務大臣

花輪書記官

第四九六號

太原駐在 西通譯生ヨリノ報告ニ依レハ同地ニ於ケル九、一八紀念日  
ハ當局ノ嚴重ナル警戒アリ沈黙裡ニ過キタル趣ナリ  
支、南京へ轉電セリ

支那國及國恥記念日ニ於ケル排  
9.24 9.18 記念日

外務省

S 1.1.1.0 - 16

820

234

REEL No. A-0046

0415

アジア歴史資料センター

普通公第二〇號

昭和十二年拾月八日 接達

昭和十一年九月二十四日

在鄭州

領事代理 佐々木高善



外務大臣有田八郎殿

九一八紀念日当日ノ狀況報告ノ件

本件ニ関シテハ既電報告ノ通り平穩ニシテ何等事故ナク經過セリ

一、鄭州ニ於テハ午前九時縣党部主催ノ下ニ全部大禮堂ニ各代表者ヲ招集シ紀念会ヲ開催シ午前十一時散会セシガ市内遊行

— 在鄭州日本領事館

又ハ宣傳單ノ散布又ハ貼布等モナク他ノ紀念日ニ比シ寧ロ沈靜ノ觀アリタリ

公安局ハ巡警ヲ武裝セシメ街路ヲ巡視シ当館所在地ノ三馬路附近ハ特ニ敬言戒ヲ嚴ニシテ不穩分子ノ策動ニ備ヘタリ

二、開封ニテハ午前八時半縣党部ニ各機關・團體・學校ノ代表者參集全部大禮堂ニ於テ各界代表紀念会ヲ舉行シ午前十時散會セリ

当日党政軍各機關及ビ中等以上ノ諸學校ハ半旗ヲ掲ゲ市中ハ娛樂宴會等ヲ取止メタル外遊行又ハ傳單ノ散布等ナク平穩ニ經過セリ

三、当日ニ於ケル紀念標語尤ノ通り

S 1.1.1.0 - 16

822

S 1.1.1.0 - 16

821

235

- 一 紀念九一八要充實國力
- 一 紀念九一八要擴大自衛運動
- 一 紀念九一八要勵行航空建設
- 一 收復失地誓雪國恥
- 一 中華國民黨萬歲

右報告ス

本信寫送付先

大使、北平、漢口、天津、南京、

在鄭州日本領事館